

社団法人静岡県造園緑化協会

緑の宝



1999
秋号
No.13

(世界園芸博覧会特集号)



大井川源流 原生林の秋

目 次

公園におけるユニバーサルデザインの取り組みP2	研修旅行に参加して「雰囲気」.....P6
静岡県都市住宅部公園緑地室長 長島博雄	(株)東石園 植松乃武子
中国99昆明世界園芸博覧会を視察.....P3	タイムマシンをくぐる
昆明世界園芸博研修旅行.....P4~5	大昭和住宅(株) 緑化事業部 石崎岳
天野園芸(株) 望月牧郎	昆明世界園芸博をかえりみて.....P7~8
楽しみながら有意義な研修旅行.....P5	(株)植正園 植田正治
(株)愛樹園 中野李三	園芸博について.....P8
中国の時間の流れを思う.....P5~6	(株)東洋フォレスト 平松泰久
(株)富士植物園 内藤慶	編集後記

題字／技士会会长 乗松文男

公園におけるユニバーサルデザインの取り組み



静岡県都市・住宅部
公園緑地室長

長島 博雄

この夏、会員の皆様にはいかがでしたか。猛暑と豪雨で植物を扱う気苦労が絶えなかつたのではなかと思います。皆さんにお世話になった富士山ごどもの国も雨の影響を受け、天気に左右される施設運営の難しさを感じているところです。

さて、県では、今年度よりユニバーサルデザインを県政一般に取り入れ、「快適空間整備の創造」を目指しています。ユニーク・サル・デザインと言つても耳慣れない言葉だと思いますが、「すべての人のためのデザイン」という意味が番分かりやすいかもしれません。

高齢者も子供も障害者も健常者も日本人も外人もすべての人が使いやすく、暮らしやすい、そのような生活体系を築いていくという考え方です。

身近な例では、シャンプー・容器のキャサギザ、テレホンカードの切り込み、多機能トイレ、低床式バス、歩道の切り下げ、「身障者専用トイレです。一般の方は御遠慮ください。」から、「身障者優先ですが」となっても御利用いただけます。に変わってきたなど、すでに多方面で実施されています。

今後、高齢化社会が益々進み、障害者等の社会参加も増えることが見込まれます。そうなると、年齢・障害の有無・性別等に関わらず、だれでも自由に活動し、いきいきと共生できるよう、ものの、環境を整備・改善していく必要があります。それでは、ユニバーサルデザインが県造営の皆さんにどのような関わりがあるかというと、例えば皆さんが、公園の緑地の設計や工事を行つとき、「ユニバーサルデザインを取り入れているかいか?」で会社への評価が変わってくると考えられます。

そこで、建設省公園緑地課の監修による「みんなのための公園づくり」(ユニバーサルデザイン手法による設計指針)等の本の中から、造園に関する幾つかを取り上げると、

○園路のエッジの確保…広くて平らな園路よりも縁がある方が、視覚障害者の杖のガイドとなる。

○園路のコース…障害者が樹木に触れ、色を感じ、自然に親しめるコースを選定する。

○園路の勾配

1 障害者や高齢者の大多数にとって通常、介助無しで利用できる。

例:(富士山ごどもの国では、5%以下)

2 少少の困難が伴うか、介助が必要とする障害者もいるかもしれません。

例:(富士山ごどもの国では、5~8%)

3 障害者や高齢者の大多数にとって介助が必要

例:(富士山ごどもの国では8%を超える)

この様な園路の勾配や位置を知らせる情報提供が大切です。

○樹木の剪定…視覚障害者にとって脇から下は、枝で判断できるが、肩から上は分かりにくい。そのため、顔にかかるほどの枝は剪定する。

○レイズドベッド…地面より高く作られた花壇。車椅子使用者や視覚障害者も草花に触れることが可能。

○芝生広場にも移動でき、休息できる。

○草花の選定…黄色は、弱視者に識別しやすい色であり、花壇に利用したい。匂いの強いもの、アレルギーを起こしやすいものは、避ける。

造園関係の事項がほかにもたくさんありますが、紙面の都合により省略します。

この本にも書いてないのですが、私の樹木にとってユニバーサルデザイン論は、「最近、県内のプロジェクトで行われている郷土種の植栽工法は、樹木にとってのユニバーサルデザインである。なぜなら、その土地の気候、地質など一番適した条件のもとで成育する」ことができるから」です。少し理屈でしょうか。

ユニバーサルデザインは、全く新しい考え方というよりも今までの考え方を少し発展させ、少し変えることで対応ができることがあります。どうか会員の皆さんには、「県が言っていることは、人間だけが共生できるユニバーサルデザインではないか。我々が考えたユニバーサルデザインは、人間も植物も動物も共生できるのだ」と言うようなデザインをぜひ作ってください。

中国99昆明世界园艺会

博覧会を視察

協会では、平成十一年度事業の一環として、会員の仕事が少なく、また中国の天候の安定している六月に一週間の日程で「中国99世界園芸博覧会」を中心に視察旅行を行いました。

日程は六月二十日から二十六日までの一週間。参加者は西

市麗江市などを歴訪し、視察の成果と秘境の地の土産を両手で握り、喜んで無事全員帰国しました。

園芸博覧会場では雲南省園芸局の賴爾聰博士教授から一時間ほどどの概要説明を受けてから入園で、全員が問題意識を持った視察ができました。



博覧会事務局でのレクチャー

人と自然の調和を テーマにした民族の祭典

一九九〇年、アジアでは初めての植物をテーマにした国際花と緑の博覧会である「国際花と緑の博覧会」が大阪で開催されて十年目。今年、中国雲南省の省都・昆明で中国で初めての世界園芸博覧会が開かれている。

一九九〇年、アジアでは初めての植物をテーマにした国際博覧会である「国際花と緑の博覧会」が大阪で開催されて十年目の今年、中国雲南省の省都・昆明で中国で初めての世界園芸博覧会が開かれている。

昆明は、雲貴高原のほぼ中央に位置し、三方を山に囲まれた標高一八九五メートルの高原都市で、年平均気温十五度、一年中温暖であることから春城



参加者の頗ぶれ

一日から十
月末日の一
八四日間で
を並べ、それぞれ地域独特の建
築や草花、物産で国自慢を披
露していた。

入場者は一千万人を見込んでいた。なかでも中国館は、大きな建物の中で中国の物産や文化を紹介するとともに中庭には

博覧会会場入場前に、中国の技術を生かした様々な姿の庭を見ることができた。また、メインテーマである「人間」というテーマに沿って、二つのテーマにて構成された展示が行われた。

事務局で朝爾聰副教授の説明を受けた。あらと自然・二十一世紀に向けては「はテマ館」に、地球上から姿を消そうとしている動物や植物の生態写真など豊富な資料

かじめ、アボ
イントがと
料が展示され、絶滅からの救
済をうつたえていた。

つてあつたので会場案内をもらつて、生薬の本場とあって薬草園では多種多様な薬草とともに、生薬そのものも展示販売をし

て、建設経過、苦労話生業者のものも幾處か見受けられていたり、日本にも共通する盆栽園では、雲南省の名勝地

「石林」をミニにして展示了
したが会場

ならではの展示がされていた。海拔二、〇〇〇メートルに近い高京都市といつても、炎天下

は暑く、各自思い思いに見学して、しづおか緑・花・祭や静岡

クタールと広
くとも全体を
国際園芸博覧会に生かすべく、
その成果を胸に秘めて会場を

中国国内の各
した。

、米国、英國
が出典ブース

園藝博覽會

旅行
月教彦

影公園、三塔寺等見学しました。大理石の加工場や大理石の展示即売が行なわれて居りました。古城の一部が残つて居り古い時代を偲び乍ら街を散

山羊などの放牧が見られ四〇頭の山羊を連れた農家の人に出逢いました。



麗江・老街の石畳と流れ

二十一日朝専用バスで世界園芸博に参り見学に先立ち朝霧駅懇親会に副教諭の説明を受け又質問など一時間位の時間を致しました。お別れに二〇〇四年に行われる浜松園芸博に御参加をお願いしました。

度で六月の平均気温は九・五度との事です。私達は殆ど半袖シャツで見学しましたが当時は気温が三〇度近く大変でした。
見学の中心は中国館とその周辺の日本館でした。特に中國館に於いてはボディーチャックを受けて入館しました。中国各地より集められた国宝クラスの遺産が会場狭いとはばかり展示されて、園芸博に賭ける中国の力の入れ様がうかがわれた。各所に花壇が作られ色取り豊かでした。この花は上海で日本人が育てたのです。花壇の丸焼玉蜀黍の茹でたのがありました。玉蜀黍は固くて歯が立たないので、なんでもんに困るのか中山氏に聞いたところ、柔らかい玉蜀

染色屋で直接求められるとの事で皆目の保養をしたり土産にしました。

が創立したものの、二〇〇万錢を期間中契約した事が新聞に掲載されました。

日本庭園は滝、沢、池と変化に富み、門を入ると正倉院風の建物があり多数の人達でにぎわい写真を写すことも出来ないほど大人気でした。

珍しい展示としては中国独自の「日本だけて中國では固い」と爾のためになる柔らかい玉蜀黍は齒のためにならないのに食べるの日本人だけですよと返事が返ってきました。

山の中腹の所々に墓の様なものがあり何となく不気味な感じでした。平原に入りますと

特の薬草園や中国盆栽等日本の盆栽と違い重宝感が溢れ大きい物だと一屯以上もありました。風光明媚な盆栽等楽しませてくれました。とても全体を見学出来なくスケールの大きさに感嘆致しました。



花で型どられたジャンク

目に逢つた人も居た様です。

この地に来て日本の植物のルーツを見た思いがしました。山野草、雜木常緑樹すべて日本の植物に似ているが葉の形、幹

や茱萸草を売ったり、民俗衣装を写真撮影のモデルをしたりして居た。私達も仲間に入り楽しめ、帰りはリフトでなく、驢馬のような馬に乗つて下つたが、悪路のため馬から下り落ちたり、散々な

〔麗江〕
早朝から玉龍山へ専用バスで出発しました。展望台三、一〇〇mには宿泊施設、レストランが完備され、雪雲展望台三、四〇〇mまでリフトで上り坂道を一〇分程歩くと雪雲坪に着く。一族、チベット族、納西族が手芸品

〔龍江〕
早朝から玉龍山へ専用バスで出発しました。展望台三、一〇〇mには宿泊施設、レストランが完備され、雲杉展望台三、四〇〇mまでリフトで上り坂道を一〇分程歩くと雲杉坪に着く。イチバチ族、チベット族、納西族が手芸品で

【石林】
麗江を航空機で出発、又昆明に戻り石林見学を行なうべく専用バスで石林に行きました。

形文字が大きく目に映りました。私は都民会議の音楽や歌詞が印象的でした。終了後象形文字の人達が納演した舞踊を見て感動しました。西族の所有掛軸など西野会長と二人で四本譲り貰いました。

の東河村等麗江の一日を薦め
三、四〇〇mの高地なのです
寒さは感じられず少し空気も
薄いかと思われる位でした。
玉泉公園、博物館、世界遺産道
み、夜は納西族の民俗音楽が聞
けるとの事で行った所独自の象

A scenic view of a traditional Chinese town, likely Lijiang, featuring a narrow canal flowing through the center. The surrounding architecture is a mix of traditional wooden houses with tiled roofs and modern structures. A person is seen walking along the canal bank. The scene is lush with green trees and foliage.

石林は海拔一、七六〇mで平均気温が一五・六度と穏やかで昆明市から八六キロ離れます。ガイドをつとめるサニ族の女子が多く、頭には独特な綿帽子を被り、民俗衣装をまとうて迷路のような石の林通り、約二時間位見学後大觀樓を見て夕食は民俗舞踊のディナーショーで楽しんだ。昆明の劇場では雲南省の二十六民族の舞踊、草笛その他の楽器で約二時間魅了されました。

中国に始めて旅をして感銘はやはり日本のルツは中国にあつたと思いました。特に少数民族が多数を占め、東南アジアやチベットの文化が交流する雲

南ならではと思いました。

少数民族で特に興味をひかれたのは納西族でした。シナチベット語系、チベットビルマ語族に属し、高齢の女性は殆ど紺を基調とした民俗衣装を日常的に着用して居る。チベット文化の影響を受け、東巴と云ふ独自の宗教と象形文字を持っているが、文革と共に廃れ現在では文字を読解し、祭祀を執り行なえる者は数えられる程しか居ないとの事です。宗教は消えて行く運命の様だがその文字については研究所や博物館に於いて保



花のモニュメント

世間はゴルデン・ウイークに入りました。社長から「六泊七日」の一大事にしている事がよく解ります。

政府は博覧会までに三十億元かけて市街の施設の整備、昆明空港の新しいターミナルの建設、道路は完全に整備されています。将来は昆明を中心とした国際的な観光地となるのを望みます。

中国に始めて旅をして感銘はやはり日本のルツは中国にあつたと思いました。特に少数民族が多数を占め、東南アジアやチベットの文化が交流する雲南ならではと思いました。

少数民族で特に興味をひかれたのは納西族でした。シナチベット語系、チベットビルマ語族に属し、高齢の女性は殆ど紺を基調とした民俗衣装を日常的に着用して居る。チベット文化の影響を受け、東巴と云ふ独自の宗教と象形文字を持っているが、文革と共に廃れ現在では文字を読解し、祭祀を執り行なえる者は数えられる程しか居ないとの事です。宗教は消えて行く運命の様だがその文字については研究所や博物館に於いて保

護研究が継続されている。絵一枚一枚に物語があり私はその一枚を見て旧式聖書物語を思い出した次第です。

中国がまるまる賭ける意気込みは素晴らしい。国を上げての一大事にしている事がよく解ります。

政府は博覧会までに三十億元かけて市街の施設の整備、昆明空港の新しいターミナルの建設、道路は完全に整備されています。将来は昆明を中心とした国際的な観光地となるのを望みます。

世間はゴルデン・ウイークに入りました。社長から「六泊七日」の一大事にしている事がよく解ります。

政府は博覧会までに三十億元かけて市街の施設の整備、昆明空港の新しいターミナルの建設、道路は完全に整備されています。将来は昆明を中心とした国際的な観光地となるのを望みます。

楽しみながら有意義な研修旅行

株式会社 愛樹園 中野孝三

たのがこの研修旅行の始まりでした。現場のことが気になり、頭の切り替えが出来ない内に出发となってしまいました。

園芸博覧会では最初に博覧局の頬間から色々と説明がありました。その時頭に浮かんだ話がなりました。社長から「四月二十九日夜、自家の電開口一番『明日バスポートを持て来い』との一言、旅行の日程は六月二十日から、バスポートは切れていて連休がらみで発行には時間がかかるし、旅行予定期は県の工事の工期と重なるし、頭の中はほとんどパニックに陥っ

花のモニュメント



束河村にて

（株）富士植物園 内藤豊

昆明は別名春城とも呼ばれる花と緑が絶えないという。年中春の陽気では凌ぎ易いだろうし、越冬用の食料を備蓄する必要もなく忙しく労働したり、先を争って急ぐこともないということか。人々（少数民族のイ族、ナシ族、ペー族、チベット族等）がそれぞれの自治区で生活をしているは実にのんびりしている。広大な大地はゆったりした性質を育むのか、全てにあわてない。素朴に生活をしています。

夕日に向かって自転車付リヤカートの荷台に妻と子供を乗せ、のんびりペダルをこぐ農夫

会場内に目を転じると、全体的にはよく管理され、清潔になりました。また見た他の園芸博も遜色のないものでしたが、ひとつだけ気になったことがあります。花烟の中に大きな鉄の蓋、モニメントの下にリヤカート、私たちの感覚で考えると化粧蓋を使用するとか、客から見えない所に置くとか、目隠し柄栽をするとか考えるのですが、国民性の追いなのでしょうか。

とにかく、楽しくも有意義な研修であり、このような機会を与えてくださった関係皆様に感謝します。

（株）富士植物園 内藤豊

昆明は別名春城とも呼ばれる花と緑が絶えないといふ。年中春の陽気では凌ぎ易いだろうし、越冬用の食料を備蓄する必要もなく忙しく労働したり、先を争って急ぐこともないということか。人々（少数民族のイ族、ナシ族、ペー族、チベット族等）がそれぞれの自治区で生活をしているは実にのんびりしている。広大な大地はゆったりした性質を育むのか、全てにあわてない。素朴に生活をしています。

夕日に向かって自転車付リヤカートの荷台に妻と子供を乗せ、のんびりペダルをこぐ農夫

の姿に家族の団欒を想い、ゆつくりもいいなあと思う。

研修旅行に参加して「雑感」



雲杉坪(標高3,400m)にて

分割みのスケジュールを立て、時間に追われて活動する都市型の生活は無縁のようである。私達の生活には流れに添つた生活だった。それが今は夜と日とで全く違う。も行動し、忙しい。全てにゆとりが無くなっている。もしかしたら、時間は場所や人によっては速くなったりゆっくりになたりするのかも知れない。そんな気気にさせられる大地の時の流れである。

昆明での顧鈞聰先生との出会い、説得力を感じさせる話題の方、言葉は解らなくてそのまま力強さ、同性として見て私も思いますので省略させて頂きます。

作を守るカリシ族は、古代文明を産んだ民族で東洋文化（象形文字の発祥の地）か？（どもの国のサインに多用されています）日本のルーツかとこれまで考えています。

最後に「右林へ寄りました」からスト風景の名所ですが、その規模・その雄大さ見上げる中

ルスト風景の名所ですが、その規模・その雄大さを見上げる中空に浮く石皆様にも一度実感して頂きたいと思いました。旅行の締めくくりは、上海のジャズです。戦前戦後を生きぬいてきたジャズ愛好家の方々たちの演奏・その老人力あふれるパワーに圧倒されながらも深く感入りました。(石川さん)の踊り、天野さんの歌、小林さんと天野さんの社交ダンス等々、よき想い出の一晩となっていました。

タイムマシンをくぐる

中国世界園芸博覧会の開催場所
都市である昆明市街地から園芸博の会場に至るまで、あちこちに花壇が造られ、殺伐とした埃っぽい街並みの中に一見、華やかな空間が園芸博を盛り上げていました。

A photograph of a massive, rugged rock formation. In the center, a large rectangular plaque is mounted on a rock pillar, with the characters '石林' (Shilin) inscribed on it. The formation consists of numerous tall, thin, and slightly curved rock pillars of varying heights, creating a dense, forest-like appearance. The base of the formation is covered with green grass and some fallen leaves. Several people are visible at the bottom right, providing a sense of scale to the enormous rock structures.

滞在中は、目に映る
ものが總てが驚きの連続で、
長い時間の果てに構築された
魅力的な「石林」や、「四方八
方」に石畳の路地が伸び、水路
のせせらぎが趣を生み、朱塗り
の木造建築を引き立てる
世界遺産の「老街」には、歴史
と文化の素晴らしさを感じま
した。
慣れない生活や現地の生
活風土には、カルチャーショック
をも受けましたが、日本のルル
ツが雲南省にあるというよう
に、今日までの「我国の歴史や文
化が凝縮された世界を、タイム
マシーンで覗いてきたような
そんな旅でした。



活氣あふれる昆明

(株)植正園 植田正治
我が園協は、六月二十日より
二十六日(七日間)中国 昆明世界園芸博覧会視察を行つ
て、西野会長を团长とする二十四名、女性が六名という
メンバーである。

や植物には適した気候といえます。市内道路は広く、車も多く、高層建築物が多く、見られ現在もあちらこちらで建築中であり、街は活気にあふれている。

花博会場の入り口からメイン通りには、一面に色とりどりの花で飾られたその花壇は、見事であった。会場の広さは、二、八ヘクタールとのことです。又、会場は起伏に富んだ良い地形をしていて、花博には最適の場所であるように思った。我々一行は、見学前事務局を訪問。賴副教授より花博会場についての経由とその内容の説明を聞いた。花博会場全体の費用は、日本円にして約一千億円とのこと。我々はなんといっても日本庭園の規模の大きさにはやはり中國館で、多くの国の出展がある。我等はなんといっても日本庭園である。日本庭園は、日本伝統的な庭園文化を演出した回遊式池泉庭園であ



三塔倒影公园

売されていた。私も皆も記念品にと山水画を買いました。三日目の朝早く昆明を出発。雲南航空にて大理に到着。山の頂上を平に切り取り造った滑走路である。静岡でできる飛行場はいかがなものになるのではないかと話題し合つた。

いので、ほとんど食べない。その辺でパンを買ってホテルで食べるにしている。



世界遺産の東河村

るとの日本の國のどこかの庭にいるような気分になつた。

遠い中国の昆明で、日本庭園の作庭に従事された方々の苦労を思うとき、御苦劳様でした」とお礼を申し上げた。昆明市内から、バスで三十分钟の山の中に唐時代に創建された、昆明で最大最古の寺院円通寺を見学。寺内で、中國新華書芸術顧問の李徳華先生が、自分の書いた書画を、寺院維持のための資金作りに販

八ヘクタールとのこと。又、会場は起伏に富んだ良い地形をしていて、花博には最適

には、一面に色とりどりの花で飾られ、その花壇は見事であつた。会場の広さは、二二

や植物には適した気候といえます。市内道路は広く、車も多く、高層建築も多く見られ現在もあちらこちらで建築中であり、街は活気があり、花博会場の入り口付近では、多くの観光客が見受けられます。

A photograph showing three traditional Chinese pagodas standing on a grassy bank next to a body of water. The pagodas are light-colored and have multiple tiers. Their reflections are clearly visible in the calm water in front of them. In the background, there are more trees and what appears to be a small town or temple complex under a clear sky.

にと山水画を買ひ求めた。三日にと山水画を買ひ求めた。三日南航空にて朝早く昆明を出発。雲南航空にて到着。山雲頂上を平に切り取り造つた滑走路である。静岡にできる兼行場もこのようになるのではないかと話し合つた。

三塔倒景公園 三塔寺 古城
到着。大理石工場、水に写る日本木の黒松によく似ている。

いので、ほとんど食べない。その辺でソムを買ってホテルで食べる事でいる。

翌日、玉龍雪山に向つ。雪山は、標高五千米の山である。行き道は山路であり牛が放牧されている。土地はやせていて山路の両側には松の木が多い。高さ三、四米位で一寸見には日本木の黒松によく似ている。

りて、広場に向かう山道の両側

は、幹周二米、樹高三十米の大木が茂っており、豊かな雪く寒さを感じた。広場に出る。天気ならここで頂上の雪を見ることができるそうだった。その日は、あいにくの曇りで、残念である。

広場ではナシ族の娘が、民族衣装をつけて踊っている。我等メンバーもいつしょに踊っていた。バスで山路を下る。途中、ナシ族の部落に立ち寄る。家の外側は土壘で、屋根はかわらで葺いてあり、内部の天井は低く、木材を組合合わせて長期に耐える家造りである。ナシ族は農作業と家事は女性が全部するそうだ。朝、麗江を出発。空の便にて昆明にもどる。着後、一路バスにて山を越えながら石林に向う。約三時間後石林に到着（一億八千万年の時をかけて海底が隆起・浸食、風化されて形成され、三十メートルある岩石・石の林だ）。地盤は生きているのだとうづく思つた。この度の旅行で一番私が困つたことは食事だ。添乗員になるととかならないかと言つたが、入れ鄉に従つてもういいと言われてしかたないと思つた。今度の旅行の成田出発より帰国までの全工程を、西野会長が記録としてビデオを撮つて下さり、お礼などに御苦労様でした。お礼を申し上げます。

編集後記

配置されたものや、音楽家の美しい音色が聞こえてきそうなか庭園の雰囲気が気になります。

その他

中国についてのイメージは、自転車と人民服を着た人々と

広大な大地といったものでした

実際に都市部などは、驚く

事も特別なかったのですが、

農村部の女性は美しい民族衣装で日常の生活を送つてい

た事に驚きました。

あの時間を忘れてしまった

ような生活は、自殺者の増え続ける日本が無くしてしまつた何かが有るよう思つてなりませんでした。

最後に、事務局の方を始め協会の皆様方に大変お世話になりました事をこの場をお借り

りして御礼申し上げます。

楽しく有意義な旅行を有り難うございました。

◆吉田で開催される「すおか緑花祭」も余ります。二年半となりました。ブースへの出展要請もきております。具體化したらお知らせします。

◆第二回半期もやはり沢山の事業を行い、その成果、経過を本号でお知らせすべきところですが、次回にまとめて報告したいと思います。

園芸博に
（株）東海ファーレスト
平松泰久



音色が聞こえそうな庭園



当にゴミの山だったのかと疑つたのと同時に、地球全体が環境問題を第一に取組んでいることを実感させられました。

会場は、石切り場跡地で、ゴミの処分場であり、それを利

用して出来た会場は、「ここが本

花壇の中には、美しい仏像が

◆本号は、中国国際園芸博覧会視察特集号としました。視察

参加者から多くの原稿をお寄せいただきありがとうございました。

◆紙面の都合で本号は話題の森は休ませていただきます。

◆暑かつた夏も終わり、といつても今年の九月は、平均気温が七月より高いという異常気象でした。植栽工事後の養生には十分御留意下さい。

◆第二回半期もやはり沢山の事業を行い、その成果、経過を本号でお知らせすべきところですが、次回にまとめて報告したいと思います。

◆吉田で開催される「すおか緑花祭」も余ります。

◆まだ残暑厳しい本年の秋、でももうすぐ新年号です。支

部活動の投稿をお待ちしております。